

# クローズアップ きよバス 利用者アンケートの結果をお知らせします

～より使いやすいコミュニティバスを目指して～

平成29年1月で、「きよバス」は運行開始から10年目を迎えました。この節目に、今後の運営方針の参考とするために、利用者300人を対象にしたアンケートを実施しました。ここから得られたデータや日ごろからのお客様の声を踏まえ、より使いやすいコミュニティバスを目指していきます。また、平成29年度中には、移動・交通全般に関する市民アンケートを実施する予定です。その際は、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

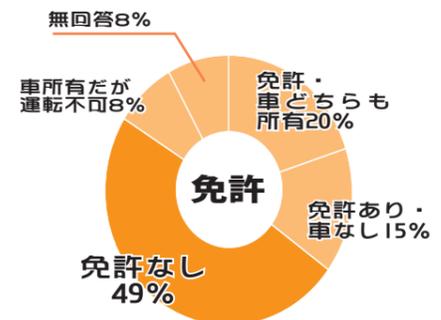
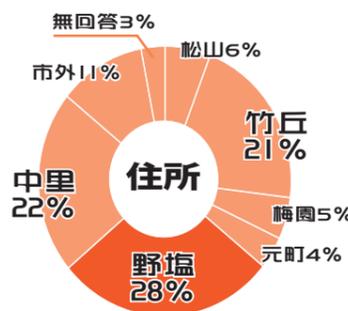
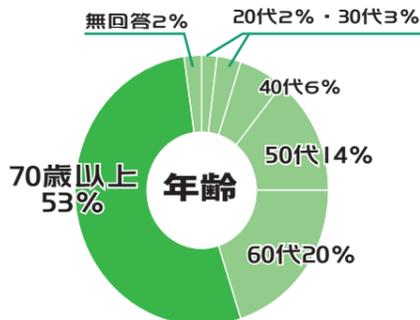
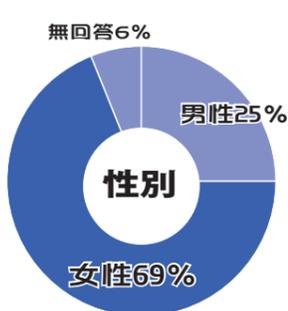
問合せ 道路交通課交通安全係 ☎042・497・2096

アンケート実施日：平成29年1月17日・18日

回答：186人 回収率：62%



## 利用者の属性



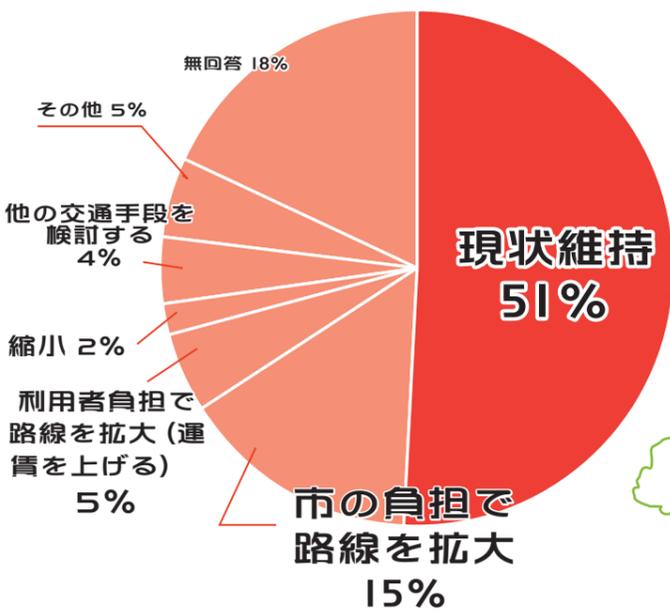
利用者の属性では、きよバスを実際に利用しているのがどんな方々なのかを知ることができます。まず「性別」では、**女性が7割近くを占め**(129人)、男性(47人)の約3倍に上がることがわかります。「年齢」では、70歳以上

上が53%(98人)で、60歳以上(20%・37人)と合わせると**全体の4人に3人が60歳以上**となっています。「住所」は利用者のお住まいで、野塩・竹丘・中里地域の方が各2割程度となり、松山

・梅園・元町地域は4～5%の割合となっています。また、市外の方の利用も11%ほど見受けられます。

免許や車の保有状況では、免許あるいは車を所有していない人の割合が高いようです。

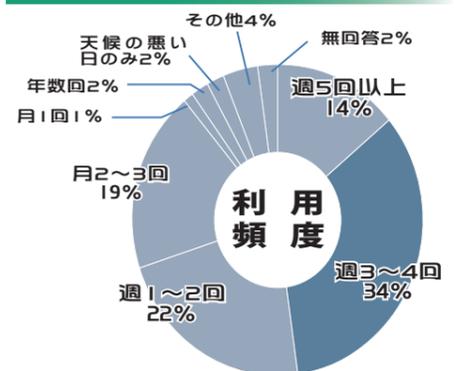
## 今後の運営方針



今後の運営方針について、コミュニティバス事業への市の補助金の状況を示したうえでアンケートに答えていただきましたが、結果は「**現状維持**」が**51%(106人)**で最も多く、過半数の方が現状維持を望まれていることがわかりました。※運行開始から平成27年度終了までの補助金の平均は、毎年約1,800万円です。

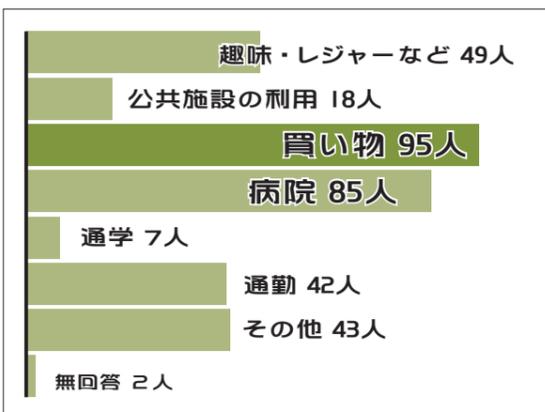


## 利用頻度



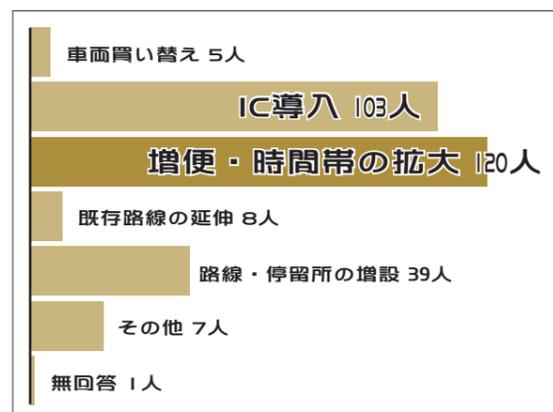
「週に3～4回」「週に5回以上」を合わせると5割近く、「週に1～2回」も合計すると70%(130人)となり、**利用者の7割の方は最低でも1週間に1度以上**はきよバスを利用していることがわかります。

## 「きよバス」の利用目的



きよバスの利用目的では「**買い物**」が一番多く、次いで「**病院(通院)**」、3番目が「**趣味・レジャー**」という結果になりました。

## 「きよバス」への要望



きよバスへの要望では、「**便数を増やす・走行する時間帯の拡大**」が120人と最も多く、次いで「**パスモやスイカなどICカードの導入**」も100人を越えました。

## TOPICS

### 「地域公共交通会議」でアンケート結果を取り上げました!

3月29日に行われた「平成28年度地域公共交通会議」で、今回のアンケート結果を議題として取り上げました。適正な補助金の範囲内で「きよバス」を維持・存続することも含めて、市内全般の公共交通のあり方について協議・検討しました。詳細は、市ホームページにて公開予定です。



地域公共交通会議の様子